

Webexログの生成

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[トラブルシューティング](#)

[デスクトップ](#)

[モバイル](#)

はじめに

このドキュメントでは、デスクトップおよびモバイルでWebexログを生成する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する専門知識があることが推奨されます。

- Cisco Webex

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Webex

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメント内で使用されているデバイスはすべて、クリアな設定（デフォルト）から作業を始めています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

トラブルシューティング

デスクトップ

Webexアプリを開き、プロフィール画像をクリックし、ヘルプ>ヘルスチェッカーに移動し、診断>すべてのデータのエクスポートをクリックし、問題レポートファイルの保存を有効にし、エクスポートをクリックします。デフォルトでは、ダウンロード時にログを保存するように求められますが、希望する場所を選択できます。

このプロセスでは、ログ、発信環境データ、診断HTMLの3つのファイルを含むZIPファイルを作成します。

モバイル

Webexアプリを開き、プロフィールの画像をクリックしてReport an Issueに移動し、Product AreaでCallingを選択します。Choose (required)をクリックして問題を定義し、テキストボックスに問題の説明を入力します。次に、Attach calling environment dataトグルを有効にし、Sendをクリックします。

このプロセスでは、分析のためにログをクラウドに送信し、フィードバックIDを提供します。これは、収集されたログの一意の識別子です。TACに提供できるように保存します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。